

(一社) 山梨県サッカー協会 4種委員会 議事録

2017 第2回理事会

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

平成 29 年 7 月 14 日 (金) 午後 7 時～10 時

〈場所〉

(一社) 山梨県サッカー協会 2階 会議室

〈出席者〉

◇石原幸周委員長 (甲府) ◇小林芳昭副委員長 (峡中) ◆福田和久副委員長 (峡北)
 ◇風間斉副委員長監事 (峡東) ◆志村祐理事・会計 (甲府) ◆藤田徹理事会計補佐 (郡南)
 ◇三澤厚司理事 (郡東) ◆末木一幸理事 (峡東) ◆望月一徳理事食育 (峡中)
 ◆内田淳理事 (峡中) ◇村松貴志理事 (峡北) ◆西島秀和理事 (郡東)
 ◇三浦善明理事 (郡南) ◇三科健二郎事業運営部長 ◇溝呂木勉審判部長
 ◇神取一弘技術委員長 ◇横森潔キッズ部長 ◇野口フットサル部長
 ◇鈴木和幸理事広報部長 (甲府)

〈議事〉

司会：石原委員長

付議事項

1. 委員長挨拶
2. トレセン認定制度の説明 (保坂ユースダイレクター)
3. 協議事項
 - (1) 報告事項
 - ①専門部報告
 - ②その他報告
 - (2) 関東委員長会議報告
 - ①第 4 1 回関東少年サッカー大会組み合わせ抽選
 - ②関東大会とバーモントカップの日程調整について
 - (3) 2017Nanahocup 大会総括 (別紙)
 - (4) 北関東大会について
 - (5) 熱中症ガイドラインの見直しについて (別紙)
 - (6) ウェルフェアオフィサー研修会 (新規・更新)
 - (7) キッズプログラムについて
 - (8) 女子 (4 種) の現状について
 - (9) 指導者養成地区研修会 (甲府) の報告 (別紙)
 - (10) 山梨県選抜少年サッカー大会競技方法について
 - (11) 今後の予定について
 - (12) その他

議事経過

1. 委員長挨拶

- ・ Nanahocup が 2 か月かけ無事終了した。トレセン認定制度について説明する。

2. トレセン認定制度の説明（保坂ユースダイレクター 別紙）

保坂ユースダイレクターより別紙によりトレセン認定制度について説明がされた。

目的については、全国各地で実施されているトレセン活動の更なる質の向上を目指し、一定の基準を満たしたトレセンに対し J F A トレセン認定を付与することにより、管轄するサッカー協会による漏れのない選手の発掘・育成・認定された指導者によるレベルの底上げと J F A の方向性・指針の発信、プレー環境の安心安全を高めていくことを目的としていること、トレセンの定義や認定の条件、指導者の条件等が説明された。

- ・これに関して理事より、山梨は選手数や予算規模が小さく新たな取り組みに対して懸念する発言があった。
- ・2020年を目途に課題を抽出しながらライセンスありきではなく更なる育成強化を考え Y F A として取り組んでいくことになる。（委員長）

3. 協議事項

(1) 報告事項

① 専門部報告

事業運営部 なし

審判部

- ・審判資格更新講習会が 9 月より開始予定、Web 公開は 8 月 1 日からとなる。

技術部

- ・女子静岡カップ、MTM、F F P について通知した。
- ・7 月 17 日県トレ U-12 会場は初狩憩い午前中、U-11 は日世スタ午後、女子学院 15 時～ マッチデー日世で午前中
- ・8 月 3 日ヴァンタス U-10 交流戦出場選手県トレと地区推薦及び女子が出場する。

広報部 なし

キッズ部

- ・キッズ U-6 U-8 サッカーフェスティバルが峡東、甲府、峡中、郡内南の 4 地区で実施した。キッズ部員地区理事の協力を得て参加人数が増加した。課題として甲府地区は 160 名が参加地区内指導者の協力体制が微弱という反省がある。地区内で 4 種事業として開催していること理解を求めてほしい。後半 9 月郡東、10 月峡北で開催予定
- ・出前フェスティバルについて 3 回予定、10 月 29 日峡中(身延)、郡内東地区、峡北地区で開催予定。
- ・キッズアカデミー 7 月 23 日小瀬で U-8 フェスティバルを開催予定。

フットサル部

- ・7 月 2 日バーモントカップ決勝「A S 甲府」が優勝した。関東大会出場選手の所属が確認されているが、個々に調整をいただいている。

② その他報告

(2) 関東委員長会議報告 (石原委員長)

①第41回関東少年サッカー大会組み合わせ抽選

- Aパート：栃木① 神奈川② 東京③
 Bパート：山梨③山梨 SSS 千葉① 群馬②
 Cパート：埼玉② 神奈川③ 東京①
 Dパート：茨城① 山梨②V F 甲府 栃木③
 Eパート：埼玉③ 群馬① 茨城②
 Fパート：千葉② 群馬③ 神奈川①
 Gパート：山梨①Uスポ 東京② 茨城③
 Hパート：千葉③ 埼玉① 栃木②

②関東大会とバーモントカップの日程調整について

- ・関東4種委員会ではバーモントカップと重ならない日程を前提とする。
- ・2018年度千葉県開催の日程は、8月25日(土)～26日(日)と決定。
- ・2019年度神奈川県開催の日程は、8月24日(土)～25日(日)で調整する。

(3) 2017Nanahocup 大会総括 (石原委員長 別紙三科事業運営部長)

□審判チームの中に上級審判員がいる場合、審判割り当てによらず上級審判員が主審を担当するようにしたらどうか、理事会で意見照会をいただければ幸いとの意見があった。

■審判委員会が担当する場合の審判割り当てについては委員会に一任する。

■各チーム帯同審判による場合、その4名からチームに関わらず上級審判員が主審を担当することを認める。但し変更については会場責任者に了解を得たうえで行うこととする。

大会総括(三科事業運営部長)

(全体的)

1. 開催期間2か月に及ぶカップ戦形式の大会であったが、大きな問題もなく、各チームご尽力頂き、天候にも恵まれ全体的にスムーズに運営ができた。最終日は押原公園天然芝Gで行われ猛暑に近い気温ながら体調不良を起こした選手・スタッフ・保護者もなく無事に終えることができた。また、早朝よりピッチの補修をしていただいた望月理事、事務所での作業を快く承諾していただいた職員の皆様に感謝しています。

(日程)

2. 天候にも恵まれスムーズに行えた。最終日の日程も余裕があったためクーリングブレイクの導入もスケジュールに支障は生じなかった。また、今年度も幸いなことにWBG Tが31度を超えることなく開催ができた。リスク回避から会場や開催期間の変更が行えればと思う。今後検討していただきたい。

(要項)

3. 今年度は「ベンチ入りチーム役員は2名以上3名以内」と記述を追加した

(審判)

4. 経験不足と思われる主審がいたとの報告があった。以前にも各チームへ経験のある審判の派遣をお願いしているので、再度徹底をお願いする。

(熱中症)

5. リーグ戦2日目からWBG Tが25度を超える会場があったようだが、各会場に熱中症ガイドラインを用意していただき、事故なく無事に開催することが出来た。会場運営責任者はじめ関係者のご尽力に感謝する。

以上

□大会エントリーについて

- ・山梨県ではこれまで複数エントリー以外は大会前にエントリー票の提出を求めていることから、大会初日のメンバー表をエントリー表と認める。
 - ・大会期間中の移籍選手は出場できない。
 - ・上位大会の要項に準ずるか山梨県内予選では独自にエントリーを認めるか意見が分かれる。
 - ・複数エントリーが可、不可によって選手の出場機会が失われることもある。
- 次回理事会で協議していくこととする。

□熱中症などリスク回避策として、開催場所や開催期間の検討について

- ・昨年、今年とWBG Tが31度を超えることは無かったが様々事情はあるもののU運営する立場としてはリスクを回避したいと考えた。
 - ・過去に比較的涼しい会場での開催をしていた時期もあったが天候不順などの経験もあり現在に至った。費用の問題もあり会場選定が難しい。
- 北関東大会出場チームが6チームになることから、最終日のスケジュールが変更となる試合数が減少する提案もありその場合はリスクが軽減する。リスクという視点からも考えていく。

○駐車場について、路上駐車等もあり警察からの指導もあった。体育館駐車場が使用できない場合も考慮し準備をする必要が有る。

(4) 北関東大会について

- ・2018年度より参加チームを24チーム(各県6チーム)することが決定した。これまでは、16チーム(各県4チーム)北関東大会が来年度より24チーム開催となることから、各県6チーム選出なる。全ての順位を決定するのか、北関東の残り1枠と関東の残り1枠のみ行い、その他は抽選とする2案を検討した。
 - ・山梨県における順位決定の方法について以下の通りに決定
- 決勝トーナメントでは、関東大会出場の3位と北関東大会出場となる4位並びに9位を決定する必要が有る、最終日の順位決定戦は①10:00~9位決定戦、②11:00~3位・4位決定戦、③12:00~決勝戦とする。5位~8位までの順位決定戦は行わず抽選により順位を決定する。

(5) 熱中症ガイドラインの見直しについて(別紙 鈴木理事)

- ・5月に行われた県大会時にWBG T25度を超えた会場があり、4種通達熱中症ガイドラインの「山梨県4種委員会ではCoolingBreakを実施すること」と示されていることについて見直しが必要ではないかとの問い合わせがあった。

■本部の責務として記載されている内容だが、7月～9月の大会／試合での必須責務とされている。さらに「他月においても想定される場合はこれに準ずる」と規定されているので5月の大会でCoolingBreakではなく飲水の判断をすることは問題がない。したがって見直しの必要はない。

(6) ウェルフェアオフィサーについて

①Nanahocup 時における実施結果報告（三浦理事 別紙）

- ・決勝と順位決定戦において、三浦理事、西島理事、他でマッチウェルフェアを実施し見守り録として提出。内容は特に記載対象となるようなことは見受けられなかった。コーチの声掛けや4人がベンチに入っていたなどがありました。
- ・今後も継続していきたいと考えている。

②YFA マッチウェルフェアオフィサー研修会（新規・更新）（石原委員長）

- YFA ウェルフェアオフィサー体制の構築、組織化して取り組んでいく。
- クラブウェルフェアオフィサーの全チーム1名取得を目指している。
- マッチウェルフェアオフィサー研修会の実施
 - ・日時：9月16日（土）午後3時～
 - ・場所：ぴゅあ総合 小研修室（2階）
 - ・対象：1種～5種

(7) キッズプログラムについて（石原委員長）

- キッズプログラム取り組みから14年目となった。これまでの様々な取り組みでは十分効果を得ることが出来た。しかし現在の環境や状況変化から今後のあり方について、検証も含め考えていく。U-10リーグ、U-10交流フェスティバルを来年から廃止し代わりとなる事業を次回理事会より検討していく。

(8) 女子（4種）の現状について

※次回理事会での協議とした。

(9) 指導者養成地区研修会甲府地区の報告（鈴木理事 別紙）

- ・5月13日（土）小瀬体育館会議室にて実施 午後1時～3時
- ・午前中予定していたU-9フェスティバルが雨天延期となり、午後からの指導者研修会のみ開催となった。予定指導者1名が欠席となりましたが、当日参加していただいた方があり10名での研修会となった。参加指導者の皆さんからのお話を引き出すために、保坂ユースダイレクターからの声掛け等もあり、日頃感じていることを声にしていただきました。課題を3つに絞りディスカッションを行いました。3つのグループともに活発に話し合いをする様子が見て取れました。又20代と思われる若い指導者がよく整理された発表を行うなど良い人材がいることも嬉しい発見となりました。5年後、10年後の甲府4種を担ってくれる皆さんと、まずはコミュニケーションをとることが出来たと思います。今後も4種委員会としてU-9年代はとても重要なカテゴリーであり、チームの若手指導者の皆さんとともにチーム環境も

整えながら取り組んでいきたいと考えていること、今後もこのような研修を続けていくことをお伝えし、初めての研修会を終えた。

■4種事業として指導者養成地区研修会を各地区で開催をしていく。保坂ユースダイレクターに依頼をして実施する。各地区はスケジュールを検討し報告をお願いする。（石原委員長）

■関連して、U-12リーグでU-9指導実践を実施しているが一義的な部分で活用してほしい。（横森キッズ部長）

(10) 山梨県選抜少年サッカー大会競技方法 8人制に戻すことについて

（神取技術委員長 別紙）

□今回も11人制で実施したがその際ゴールを成人用に変更して実施した結果A・Bパート合わせて60得点（一昨年30得点）と少年用ゴールを使用した場合に比較して得点は倍増した。しかしその得点パターンを検証した結果ミドルシュート・ロングシュートが多く見受けられた。

□昨年の検証では、8人制で取り組んできた内容が11人制で発揮されていないことが指摘されたが、今回再度11人制とし成人用ゴールを採用し実施した結果、ミドルシュート・ロングシュートを多用する傾向またはラインを高くするとスピードのある選手が裏を取り得点するというパターンが多くゴール前の攻防を見ることが出来なかった。11人制をやり込んで選抜大会に臨むという意見もあったがトレセン活動では日程に限界があり取り組みは難しい。また関東選抜が8人制（68m×50m）での実施となっていることから、次回選抜大会は、8人制に戻して実施したいという判断となった。理事会で検討してほしい。

○ゲームをするための戦術的戦略的なことよりも、個としての評価を対象として検討することが必要。11人制の採用は次のカテゴリーや6年生の体格なども考慮し移行した。個の育成の部分を検証した結果8人制の方が良いという判断があるのなら良いと思う。（理事）

○8人制11人制に関わらず個の技術としてはロングシュートやミドルシュートも評価できる部分という考えもある。（理事）

○個の育成という視点でより次につながっていくと考え11人制に変更し2年間実施したが、ゴール前の攻防・ボール際の攻防やゴールキーパーからのビルドアップなどを高めるためには8人制に戻して一貫して取り組むことが良いのではないか。

○ピッチの大きさで言うと、8人制であってもU-12年代でピッチが狭いのではないかという意見もあった。80m×50mの小学生フルピッチでの8人制という考えもある。（理事）

■U-12は8人制をやり込んで「個の育成・強化」に注力し、次のカテゴリーへ送り出すという考えで良い。技術委員会スタッフとして選抜大会の意義を十分理解し意図をもって大会に臨むよう求める。

(11) 今後の予定について

①EXILECUP 7月23日（日）押原公園（4種19名出労）

②第3回理事会 9月1日（金）午後7時～ 押原会議室

③平成29年度評議員会

■日時：9月9日（土）午後2時～ ■場所：韮崎文化ホール

※役員納涼会（場所未定） 評議員会終了後

出席者確認

(12) その他

①スポーツ拠点：農村公園（旧豊富村）人工芝1面・夜間照明完備

※詳細は次回理事会議事へ

②U-12年代ゲーム環境について（47F A4種委員長会議）9月16日（土）

議題①U-12リーグ・全少大会

②U-12女子の4種移行後のフォローアップと登録の現状

③一人審判制の推進

④4種登録チームアンケート調査結果について

■山梨における現状、問題点等を提案してください。

以上

議事録作成 平成29年8月22日

広報部 鈴木和幸